

コネクテッド・カー専門委員会

中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

コネクテッド・カー専門委員会

1/3

企画戦略委員

畑中 芳隆(NTTドコモ)

登録委員数

24

委員長・副委員長/
リーダー・サブリーダー

委員長:千村保文(沖コンサルティングソリューションズ)／副委員長:加藤 寛子(デンソー)

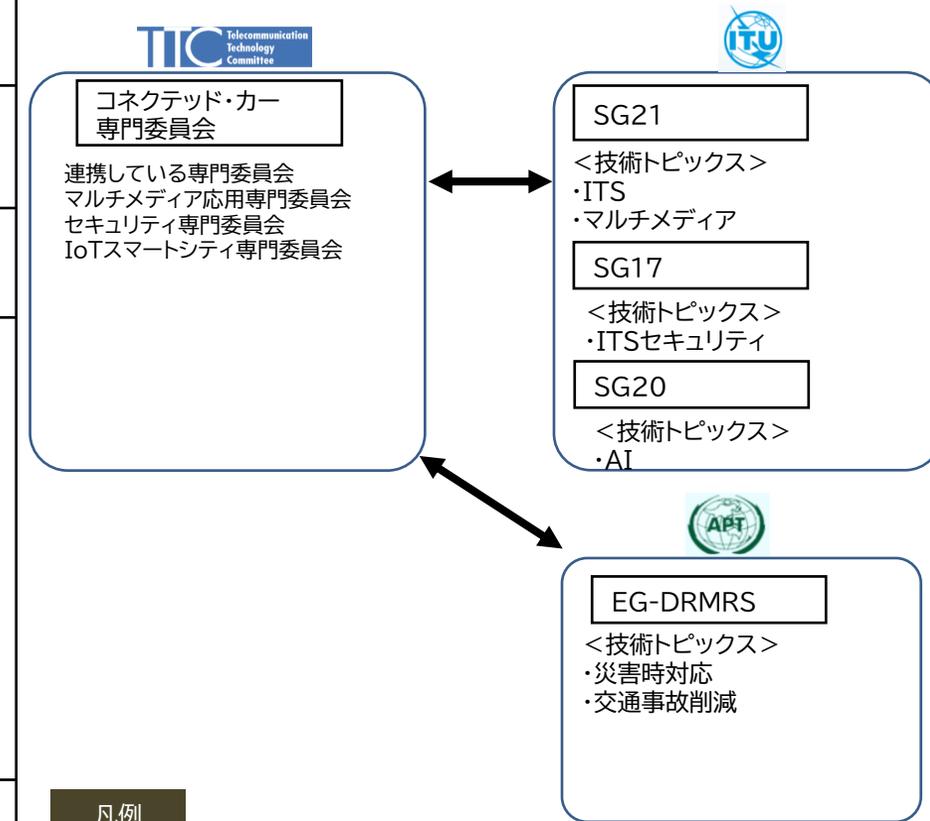
担当するSG・WP等

—

活動の目的・意義
・めざすゴール

- ・本専門委員会では、クルマ(四輪車以外を含む移動体)同士あるいは車と道路インフラや他ネットワークアプリケーションとつながることによる課題や新たな価値について検討する。
- ・高度道路交通システム(ITS)による交通事故削減や交通状態緩和などの新たな社会価値創造に向けて、通信技術が貢献するための課題や標準化の役割について、**他団体と連携し、コネクテッド・カーや自動運転の社会実装のロードマップ実現に貢献する。**

活動体制の図解



活動する上での課題
(人材面や運用面での課題を含む)

- ・自動車関連業界団体との密接な情報連携と急速に変化する市場動向のウオッチ
- ・活動メンバーが固定化してきており、変化するテーマに対応したメンバーの強化が課題

関連のSDGsゴール



標準化方針

- [アップストリーム活動]
- ・ITU-T SG17、20、21を中心にモビリティ関連の課題に注視し、標準化課題の提言を行う
 - ・CITSへの自動車通信分野の標準化動向を調査し、標準化課題を提言(特に、自動運転に関する動向やSDV(ソフト定義車)の動向に注視)
- [TTCドキュメント制定]
- ・「災害時の自動車活用した情報通信システム(V-HUB)」の利活用ガイドラインの改訂と拡充
 - ・ASTAPへの災害時の情報通信システムの事例レポートの提案とメンテ
 - ・自動車関連団体(JAMA、JSAE、JASPAR)との課題共有継続
 - ・DREAMS FORUMや自治体との連携により、コネクテッド・カー利活用促進を図る。

国内外の標準化団体等の動向

- ・WISA24の新決議[RESOLUTION COM4/VC]に基づき対応
- ・ITU-T SG17、SG20、SG21にてITS(高度道路交通システム)に関連する標準化に対応
- ・ISOでは、TC204を中心に標準化対応中。CITSにて標準化団体間連携中。
- ・国内では、JASE、JASPAR、ITS-Japanなどと連携を図る。

凡例

- アップストリーム(寄書審議等)
- > ダウンストリーム(国内標準作成等)
- ↔ 連携

<p>新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み</p>	<p>コネクテッド・カーに関する最近の国内外の動向に注視し、以下の標準化活動を実施 (1) 災害時ITS応用:自動車を用いた防災・減災システム(V-HUB)の社会実装に向けて、日本ITU協会、自動車技術協会の期間誌に記事掲載 (2) ITU-T SG17、20、21等のモビリティ関連のWork Itemを調査し、標準化動向を注視すべきテーマ(SDV:Software Defined Vehicle)他)の検討を行っている (3) 広域通信(5Gなど)と狭域通信(DSRC)を活用した都市全般を対象とする事故防止や渋滞解消に向けたスマートシティにおける課題解決に向けた取り組みの調査 (4) ITSデータの分析による新たなソリューション開発の動向について、日野コンピュータおよび電子情報通信学会AA-ITS研究会と情報交換を実施している</p>			
<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> マルチメディア応用専門委員会(SG21)、セキュリティ専門委員会(SG17)、IoT・スマートシティ専門委員会(SG20) 自動車関連団体との連携(JAMA、JSAE、ITS-Japan、DREAMS利活用研究センター、電子情報通信学会AA-ITS研究会) 			
<p>主な活動項目</p>	<p>概況指標</p>	<p>2025年度目標(当初計画時)</p>	<p>2025年度実施状況</p>	<p>記事</p>
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	<p>寄書数</p>	<p>1件以上</p>	<p>1件</p>	
	<p>外部会合への参加・連携状況</p>	<p>CITS</p>	<p>ITU-T SG21 SDVレポートへの寄書(9月)</p>	
<p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p>	<p>JJ標準</p>			
	<p>TS/TR/SR</p>	<p>0件/0件/0件</p>	<p>0件/0件/0件</p>	
<p>③ ダウンストリーム</p>	<p>数</p>	<p>TS: 回 TR: 回</p>	<p>TS制定 TR制定:</p>	
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	<p>セミナー</p>	<p>2回 (セミナー、CEATEC)</p>	<p>1回(2026年3月予定)「SDVIに関する標準化動向と今後の展望(仮)」</p>	<p>名古屋大学 高田先生、ボッシュ 森田様との意見交換会実施 日野コンピュータ 伊藤様との意見交換会実施</p>
	<p>記事投稿、講演会</p>		<p>ITUジャーナル 9月号「災害時のコネクテッド・カー技術の社会実装の状況と将来展望」</p>	<p>自動車技術協会誌2026年5月にも掲載予定</p>

重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> SDV(Software Defined Vehicle)の標準化動向の調査を行い、今後の取り組むべき課題を整理する 災害時の防災・情報通信システム(V-HUB)の社会実装について、プロモーションを継続し、社会実装を推進する 			
新テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ITS(Intelligence Transport System)のデータ分析を通して、交通渋滞回避、交通事故防止を推進するため、自動車関連団体や電子情報通信学会との連携を強化する。その一環として、大学や企業と連携したITSデータ分析ハッカソンに協力する。 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> マルチメディア応用専門委員会(SG21)、セキュリティ専門委員会(SG17)、IoT・スマートシティ専門委員会(SG20) 自動車関連団体との連携(JAMA、JSAE、ITS-Japan、DREAMS利活用研究センター、電子情報通信学会AA-ITS研究会) 			
主な活動項目	概況指標	2026年度目標(当初計画時)	2026年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件	-	
	外部会合への参加・連携状況	CITS(活動状況報告) ITU-T SG21(SDV)		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	1回 2027年3月予定		
	記事投稿、講演会	1件 自動車技術会誌(2026年5月予定) 1件 電子情報通信学会ハッカソンへの後援		